

記 録

岡山県自然保護センターの哺乳類 ～岡山県自然保護センター 哺乳類リストの改訂～

岡山県自然保護センター 池本 茂豊

Mammals in the Okayama Prefectural Nature Conservation Center

～ Revision of a list of the mammal species recorded in the Okayama Prefectural Nature Conservation Center ～

Shigetoyo IKEMOTO, *the Okayama Prefectural Nature Conservation Center*

ABSTRACT

Based on a survey conducted between April 1992 and December 2020 in the Okayama Prefectural Nature Conservation Center, 24 species of mammals were identified, 7 new species were added to the list.

キーワード：岡山県自然保護センター，改訂，哺乳類，目録，リスト

はじめに

岡山県自然保護センター（以降、センターと称す）における哺乳類リストについては、1991年の開所から5年後に発行された「岡山県自然保護センター研究報告 別巻第1号（井木ほか、1996）」に掲載されている。本リスト（以後、旧リストと称す）では7目10科17種が掲載されており、その後リストの改訂は行われていない。今回、2021年にセンター開所30周年を迎えるにあたり、旧リスト以降の記録、情報をまとめ、リストの改訂を行った。

センターは岡山県中部の東寄り、吉備高原台地の南端にあたる和気郡和気町田賀に位置している。森林と大小の二つのため池からなる敷地は約100haにおよぶ。森林はアカマツ林やコナラ等の優占する夏緑広葉樹林が発達している。また敷地内には身近な動植物と触れ合うことのできる「虫の原っぱ」等の観察フィールドの他、国内屈指の規模を誇る人工湿原である「湿生植物園」が整備されている。地質は深層まで風化した花崗岩類であり、表層はいわゆる真砂土に覆われている。位置座標

は北緯34°50'55"，東経134°3'20"。標高は約200～300m。年間平均気温は13.3℃，年間降水量は1,328mm（岡山県自然保護センター，2011）であり，気候的には年間を通じて温暖，積雪は年に数回程度，降水量に関しては少雨傾向といえる。

データ整理の方法

センター刊行物である「岡山県自然保護センター研究報告（以後、研究報告と称す）」、「自然保護センターだより」，センター友の会発行の「友の会だより」等の閲覧の他，センター内に設置された自動撮影カメラの記録，センター関係者からの聞き取り，特にセンターボランティアである山田勝氏の情報等をもとにデータを整理した。これらのデータの多くが確認方法や確認場所等の情報を欠いていたが，内容を吟味の上確実と思えるものについてリスト作成に反映した。調査対象期間は1992年4月より2020年12月までとした。なお，巻末の目録への掲載は対象期間内における初確認記録，最新記録の他，対象種の写真記録の一部を採用した。

結 果

1. 確認された哺乳類

センターでは1992年4月より2020年12月までの間に、表1（以降、新リストと称す）に示す7目13科24種が確認された。旧リストと比較すると、ジネズミ、キクガシラコウモリ、モモジロコウモリ、ユビナガコウモリ、コテングコウモリ、ニホンリス、アナグマの計7種が追加された。

表1. センターで確認された哺乳類リスト

目名	科名	和名
トガリ ネズミ形	トガリネズミ	ジネズミ
	モグラ	ヒミズ コウベモグラ
コウモリ	キクガシラ コウモリ	キクガシラコウモリ モモジロコウモリ
	ヒナコウモリ	アブラコウモリ ユビナガコウモリ コテングコウモリ
	サル	オナガザル
	ウサギ	ウサギ
ネズミ	リス	ニホンリス カヤネズミ アカネズミ
	ネズミ	ヒメネズミ ハツカネズミ
	ヌートリア	ヌートリア タヌキ
	イヌ	ホンドキツネ テン
	ネコ	イタチ
ウシ	イノシシ	ニホンイノシシ
	シカ	ニホンジカ

2. レッドデータ種について

確認種のうち、岡山県版レッドデータブック2020（2020）（以後、県RDBと称す）、環境省レッドリスト2020（2020）による掲載状況を表2に示した。なお、シベリアイタチ（旧リストではチョウセンイタチと表記）については環境省レッドリスト2020で準絶滅危惧とされているが、対馬を除く国内では生態系被害防止外来種に指定されているため表2から除外した。

表2. レッドデータブック等掲載種一覧

和名	岡山県版 レッドデータ ブック 2020	環境省 レッドリスト 2020
ジネズミ	情報不足	
モモジロコウモリ	絶滅危惧Ⅱ類	
ユビナガコウモリ	絶滅危惧Ⅱ類	
コテングコウモリ	絶滅危惧Ⅰ類	
ニホンリス	絶滅危惧Ⅰ類	地域個体群 (中国地方)
カヤネズミ	準絶滅危惧	
ニホンイタチ	絶滅危惧Ⅱ類	

(1) ジネズミ (写真1)

県RDBでは「情報不足」とされ、県内での近年の報告数低下が懸念されている。センターでの確実な情報は2018年に来園者により写真撮影されているのみで、センターでの生息状況は不明だが、以前から細々と生息していた可能性は高い。

(2) モモジロコウモリ (写真5)

(3) ユビナガコウモリ (写真6)

両種とも県RDBでは「絶滅危惧Ⅱ類」とされ、県内でまとまった集団の生息は極めて少ないとされている。センターでは山田勝氏による2007年の初確認後、同氏により継続して確認されている。

(4) コテングコウモリ (写真7)

県RDBでは「絶滅危惧Ⅰ類」とされ、県内全域に生息しているものの、個体数はそれほど多くないと予想されている。センターでは山田勝氏による2015年の初確認後、クズなどの枯れ葉をめぐらした状況で稀に確認されている。

(5) ニホンリス

県RDBでは「絶滅危惧Ⅰ類」とされており、県

内では東部を中心に生息するが記録は少ないとされる。センターでは2003年、本種のものと思われる食餌痕（松果）が初確認され、以降は継続して食餌痕（松果）の確認情報がある。

(6) カヤネズミ (写真9)

県RDBでは「準絶滅危惧」とされ、県内では河川敷、耕作地周辺の草地に生息し、南部から北部にかけて広く分布するとされる。センターではスキヤマコモなどの草地で本種に特徴的な巣が継続的に確認されている。

(7) ニホンイタチ (写真15)

県RDBでは「絶滅危惧Ⅱ類」とされ、外来種シベリアイタチと競合関係にあると言われている。センターでは水辺を中心に目撃されており、撮影された写真が専門家の鑑定により本種と同定されている。なお、シベリアイタチについては旧リスト以降、ほとんど記録がない状況である。

3. 外来生物並びに被害防止対策種について

確認哺乳類のうち、外来種はヌートリアとシベリアイタチの計2種が挙げられる。特定外来生物であるヌートリアについては、センター開所当初より水辺の植物への食害が認められ、捕獲駆除の推移がセンター研究報告に掲載されている。現在も継続して捕獲駆除を行っているが根絶に至っていないのが現況である。一方、シベリアイタチについては上述したように生息情報が不足しており、競合する在来種ニホンイタチとの関係も不明である。

在来種のうち、センターで被害防止対策を行っているのは、ニホンイノシシ、ニホンジカである。前者については道際や水田などの掘り返し、後者についてはユウスゲなどの希少植物への食害等があり、過去には捕獲檻による有害駆除を行っていたが、現在では防止柵の設置等による対策を行っている。

考 察

1. 追加種等について

今回の情報のとりまとめにより、旧リスト掲載種17種に7種を追加した計24種を掲載した新リストを作成した。センターでは開所後約30年間に松枯れによるアカマツ林の衰退と夏緑樹林の拡大が

認められるものの、そのこととジネズミなどレッドデータブック掲載種5種を含む追加確認種との関係は明らかではない。むしろ、調査手法の進化やデジタルカメラの普及による撮影情報の増加、及び近年の山田勝氏の精力的な調査が反映された結果と考えられ、これらはセンター開所前からセンターまたはその周辺において細々と生息していたものと推測する。一方で、アブラコウモリ、アカネズミ、ハツカネズミの計3種については旧リスト以降、記録が得られていない。しかしながら、アブラコウモリとハツカネズミについては山間や平地の集落、人家に普通に生息し、アカネズミも山野に広く分布する普遍種であり、今後捕獲調査の実施等により確認される可能性が高いと考えられる。

2. 掲載種の生息状況について

センターで確認された哺乳類のうち、生息状況が最も把握されているのはヌートリアであった。研究報告により、植物食とされていた本種がセンターで二枚貝を大量捕食していた事実や、水辺の植物への食害状況、有害駆除等に関するデータ等が掲載されている。次いで、ニホンジカによるセンター内での採食状況が研究報告により掲載されており、本種による希少な植物への影響が明らかにされている。また、センターにおけるカヤネズミの生息環境は、センター開所により人工的に整備された草地等が主であり、これらは継続的な管理により維持されている。このように種によって生息環境が限られていたり、ねぐらが見つからないなど、生息場所が特定できるケースはあるものの、その他の多くの哺乳類についてセンター内での活動範囲や利用状況についてほとんど把握されていない。とはいえ、岡山県南東部の山間部におけるまとまった哺乳類リストの存在は重要であり、今後、各種の分布域や生活環の情報を積み重ねていくことにより、より貴重な資料となると考える。

岡山県における野生哺乳類の状況は、他の多くの野生生物同様、自然環境の改変や外来種の分布拡大、人為的な活動の変化や気候変動等による影響に晒されていると考える。センターにおける哺乳類相は岡山県南東部の山間地域の指標となるも

のであり、これらを定期的にモニタリングすることにより、地域における生息状況の変化などをいち早く発見できる可能性がある。今後、センター全域を対象とした定期的な現地調査を計画・実施することにより、哺乳類の生息状況の把握を進めることが望まれる。また、調査に際してはこれまでの罠や痕跡、目撃（自動撮影カメラ等含む）によるもの他、糞のDNA分析といった比較的新しい手法等も加えた網羅的な調査手法の検討が肝要と考える。

謝 辞

今回の報告を取りまとめるにあたり、各文献、資料の他、センターの開所前から運営にご尽力いただいた故・佐藤國康氏が残されたセンターでの確認動物記録（未公開）も参考とさせていただいた。センターボランティア、友の会幹事として長年協力いただいている山田勝氏にはセンター内でのレッドデータブック種に関する情報を数多くいただいた。イタチ類の写真については神奈川県立生命の星・地球博物館の鈴木聡氏に鑑定していただいた。また、センターの来訪者から寄せられる情報や、平成25年度から運用している来訪者との情報共有ツール「今日の私の観察ノート」への投稿情報も参考とさせていただいた。記して謝意を表す。

引用文献

井上悦甫, 1996. 岡山県自然保護センターの哺乳類. 岡山県自然保護センター研究報告 別巻第一号: 99-102.
 環境省, 2020. 環境省レッドリスト2020 (第4次レッドリスト第5回改訂版). <https://www.env.go.jp/press/107905.html> (2020年11月30日付けダウンロードファイル).
 森生枝, 2002. ヌートリア野生化個体によるドブガイの大量捕食. 岡山県自然保護センター研究報告 (10): 63-68. 岡山県自然保護センター, 岡山. 岡山県自然保護センター, 岡山.
 森生枝, 2003. 岡山県自然保護センターにおけるヌートリアの食性. 岡山県自然保護センター研究報告 (11): 49-58. 岡山県自然保護センター, 岡山.

森生枝, 2005. 岡山県自然保護センターにおけるヌートリアの捕獲. 岡山県自然保護センター研究報告 (13): 15-19. 岡山県自然保護センター, 岡山.
 森生枝, 2007. 岡山県自然保護センターにおけるヌートリアの捕獲2. 捕獲開始後5年目の状況. 岡山県自然保護センター研究報告 (15): 73-79. 岡山県自然保護センター, 岡山.
 森生枝, 2010. 岡山県自然保護センターにおけるヌートリアの捕獲3. 捕獲開始後7年目の状況. 岡山県自然保護センター研究報告 (17): 1-8. 岡山県自然保護センター, 岡山.
 森生枝, 2011. 岡山県におけるアライグマの痕跡調査. 岡山県自然保護センター研究報告 (18): 89-94. 岡山県自然保護センター, 岡山.
 森生枝, 2012. 岡山県におけるアライグマの生息情報. 岡山県自然保護センター研究報告 (19): 9-12. 岡山県自然保護センター, 岡山.
 森生枝, 2013. 岡山県東部の自然保護地域におけるニホンジカによる採食の記録-痕跡が見られた植物から. 岡山県自然保護センター研究報告 (20): 7-20. 岡山県自然保護センター, 岡山.
 森生枝, 2015. 岡山県自然保護センターにおけるヌートリアの捕獲4. 捕獲開始後11年目の状況. 岡山県自然保護センター研究報告 (22): 31-38. 岡山県自然保護センター, 岡山.
 岡山県, 1990. 岡山県佐伯町田尻大池周辺の自然. 92pp. 岡山県環境保健部自然保護課, 岡山.
 岡山県自然保護センター, 2011. 岡山県自然保護センターの気象観測資料. 岡山県自然保護センター年報 (20): 41pp.
 岡山県自然保護センター, 2019. 今日の私の観察ノート (平成30年度)
 岡山県自然保護センター友の会, 2004. 友の会だより41号 (平成16年6月).
 岡山県野生生物調査検討会, 2003. 岡山県野生生物目録. 397pp. 岡山県生活環境部自然環境課・財団法人岡山県環境保全事業団, 岡山.
 岡山県野生生物調査検討会, 2003. 岡山県版レッドデータブック-絶滅のおそれのある野生生物-. 465pp. 岡山県生活環境部自然環境課・財団法人岡山県環境保全事業団, 岡山.
 岡山県野生動植物調査検討会, 2009. 岡山県野生

- 生物目録2009. 378pp. 岡山県生活環境部自然環境課, 岡山.
- 岡山県野生動植物調査検討会, 2010. 岡山県版レッドデータブック2009 絶滅のおそれのある野生生物 動物編. 416pp. 岡山県生活環境部自然環境課, 岡山.
- 岡山県野生動植物調査検討会, 2020. 岡山県版レッドデータブック2020動物編. 812pp. 岡山県環境文化部自然環境課, 岡山.
- 岡山県野生動植物調査検討会, 2020. 岡山県野生生物目録2019 Ver.1.1. 516pp. 岡山県環境文化部自然環境課, 岡山.
- 佐藤國康, 1993. ほ乳類. おかやまの自然第2版: 135-145. 岡山県環境保健部自然保護課, 岡山.

岡山県自然保護センター 哺乳類目録

凡 例：分類については原則として「岡山県野生生物目録2019」による。種ごとのデータについては初記録、最新記録及び代表的な写真記録を掲載し、個体数、確認年月日、確認者名・撮影者名（後長哲美：G、井口萬喜男：IM、池畑怜伸：IR、池本茂豊：IS、森 生枝：M、難波靖司：NYA、西 裕也：NYU、織田未希：O、阪田睦子：SM、佐藤國康：SK、内田和樹：U、山田 勝：Y）、補足事項の順に記した。

哺乳綱 Mammalia

トガリネズミ形目 Soricomorpha

トガリネズミ科 Soricidae

1. ジネズミ *Crocidura dsinezumi* (Temminck)

1 ex., May. 75, 2017, 撮影者：G (写真1参照), 今日の私の観察ノート (平成30年度).

モグラ科 Talpidae

2. ヒミズ *Urotrichus talpoides* Temminck

Nov. 29, 1992, 確認者：IR.

1 ex., May. 18, 2017, 撮影者：SM (写真2参照), へい死体.

3. コウベモグラ *Mogera wogura kobeae* (Temminck)

May. 15, 1993, 確認者：M.

1 ex., August. 11, 2018, 確認者：Y, へい死体.

1 ex., April. 13, 2015, 撮影者：NYA (写真3参照).

コウモリ目 Chiroptera

キクガシラコウモリ科 Rhinolophidae

4. キクガシラコウモリ *Rhinolophus ferrumequinum* (Schreber)

1 ex., Oct. 29, 2012, 撮影者：NYA (写真4参照).

1 ex., Oct. 3, 2020, 確認者：Y.

ヒナコウモリ科 Vespertilionidae

5. モモジロコウモリ *Myotis macrodactylus* (Temminck)

Oct. 13, 2007, 確認者：Y.

1 ex., Oct. 19, 2020, 撮影者：Y (写真5参照).

6. アブラコウモリ *Myotis macrodactylus* (Temminck)

1 ex., Aug. 21, 1993, 確認者：M, へい死体.

7. ユビナガコウモリ *Myotis fuliginosus* (Hodgson)

1 ex., Oct. 13, 2007, 確認者：Y.

1 ex., Oct. 19, 2020, 撮影者：Y (写真6参照).

8. コテングコウモリ *Myotis ussuriensis* Ognev

1 ex., Oct. 23, 2015, 確認者：Y.

1 ex., Aug. 23, 2020, 撮影者：IS (写真7参照).

サル目 Primates

オナガザル科 Cercopithecidae

9. ニホンザル *Macaca fuscata* (Blyth)

Jun. 16, 1993, 確認者：M.

Feb. 2, 2019, 確認者：匿名, 今日の私の観察ノート (平成30年度).

ウサギ目 Lagomorpha

ウサギ科 Leporidae

10. ノウサギ *Lepus brachyurus* Temminck

Mar. 26, 1993, 確認者：M.

1 ex., May. 18, 2020, 撮影者：O (写真8参照).

ネズミ目 Rodentia

リス科 Sciuroidea

11. ニホンリス *Sciurus lis* Temminck

Feb. 28, 2003, 確認者：SK, 食痕 (松ぼっくり), 友の会だより41号.

Mar. 3, 2019, 確認者：Y, 食痕 (松ぼっくり).

ネズミ科 Muridae

12. カヤネズミ *Micromys minutus* (Pallas)

Jul. 14, 1993, 確認者：M.

1 ex., Oct. 29, 2020, 撮影者：U (写真9参照).

13. アカネズミ *Apodemus spesiosus* (Temminck)

Nov. 29, 1992, 確認者：IR.

14. ヒメネズミ *Apodemus argenteus* (Temminck)

Dec. 17, 1992, 確認者：IR.

1 ex., Mar. 1, 2016, 撮影者：Y (写真10参照).

15. ハツカネズミ *Mus musculus* Linnaeus

Nov. 28, 1992, 確認者：IR.

ヌートリア科 Myocastoridae

16. ヌートリア *Myocastor coypus* (Molina)

7 ex., Nov. 29, 1993, 確認者：M.

1 ex., May. 5, 2020, 撮影者：IS (写真11参照).

ネコ目 Carnivora

イヌ科 Canidae

17. タヌキ *Nyctereutes procyonoides* Temminck

1 ex., Jun. 23, 1993, 確認者：M, へい死体.

Jul. 18, 2020, 確認者：Y, ため糞.

1 ex., Dec. 13, 2018, 撮影者：SM (写真12参照).

18. ホンドキツネ *Vulpes vulpes* (Linnaeus)

May. 16, 1993, 確認者：M.

Jan. 18, 2020, 確認者：Y, 糞.

1 ex., Jul. 24, 2017, 撮影者：SM (写真13参照).

イタチ科 Mustelidae**19. テン *Martes melampus* (Wagner)**

Jan. 22, 1993, 確認者：IM.

1 ex., Feb. 1, 2019, 撮影者：SM (写真14参照).

20. ニホンイタチ *Mustela itatsi* Temminck

Mar. 4, 1995, 確認者：NYU.

1 ex., Jul. 21, 2017, 撮影者：NYA (写真15参照).

21. シベリアイタチ *Mustela sibirica coreana* (Domaniewski)

1 ex., Jan. 17, 1002, 確認者：M.

1 ex., Feb. 15, 2020, 確認者：Y.

22. アナグマ *Meles anakuma* Temminck

1 ex., May. 17, 1996, 確認者：不明, センターだより1997年 Vol.6 (6).

1 ex., Apr. 29, 2020, 撮影者：SM (写真16参照).

ウシ目 Artiodactyla**イノシシ科 Suidae****23. ニホンイノシシ *Sus scrofa leucomystax* Temminck**

Aug. 27, 1992, 確認者：M.

Jul. 18, 2020, 確認者：Y, 採餌跡.

1 ex., Feb. 2018, 撮影者：SM (写真17参照).

シカ科 Cervidae**24. ニホンジカ *Cervus nippon nippon* Temminck**

Oct. 10, 1992, 確認者：M.

1 ex., Dec. 5, 2020, 確認者：IS.

1 ex., Nov. 28, 2019, 撮影者：SM (写真18参照).

岡山県自然保護センター 確認哺乳類写真



写真1. ジネズミ (2018年5月7日, 撮影:G, 虫の原っぱ).



写真2. ヒミズ遺骸 (2017年5月18日, 撮影:SM).



写真3. コウベモグラ (2015年4月13日, 撮影:NYA).



写真4. キクガシラコウモリ (2012年10月29日, 撮影:NYA).



写真5. モモジロコウモリ (2020年10月19日, 撮影:Y).



写真6. ユビナガコウモリ (2020年10月19日, 撮影:Y).



写真7. コテングコウモリ (2020年7月23日, 撮影者:IS, エントランス広場).



写真8. ノウサギ (2020年5月18日, 撮影者:O, 湿生植物園).



写真9. カヤネズミ (2020年10月29日, 撮影者:U, 湿生植物園).



写真10. ヒメネズミ (2016年3月1日, 撮影者:Y).



写真11. ヌートリア (2020年5月5日, 撮影者:IS, 捕獲個体).



写真12. タヌキ (2018年12月13日, 自動撮影:SM).



写真13. ホンドキツネ(2017年7月24日, 自動撮影: SM).



写真14. テン(2019年2月1日, 自動撮影: SM).



写真15. ニホンイタチ(2017年7月21日, 撮影者: NYA).



写真16. アナグマ(2020年4月29日, 自動撮影: SM).



写真17. ニホンイノシシ(2018年2月11日, 自動撮影: SM).



写真18. ニホンジカ(2019年11月28日, 自動撮影: SM).